

症状観察用語集

..... (Terminology for cage-side observation in animals)

Code	・ ・ 全 身 的 症 状 ・	解 説
------	-----------------	-----

C 意識・態度 Consciousness, Attitude

[意識] 正常	Normal	<p>意識正常（清明、Clear）な動物は周囲の出来事に敏感に気づいており、自己の環境への理解がある。そして次のような徴候を示す：</p> <p>マウス・ラットなどでは観察者が手を近づけると身をすくめ、敏捷に逃避行動をする「臆病さ」を示す。</p> <p>イヌ・サルなどでは観察者の入室に対してケージ内で活発に動いて反応するか、ヒトの日常作業に対して平静な態度を示す。</p> <p>なお、正常でもこれらの動物はケージ内の暗い場所に移動したり、ケージの隅に引っ込んでヒトを避ける行動（退避）を示すことがある。</p>
-----------	--------	--

[異常な興奮]

C 01 ・ 興奮	Excitement ----- excited Agitation	<p>精神的に活動性が高まった状態。自発運動が亢進し、高度になれば発声も起こる。中枢神経刺激による興奮では、周囲に対する了解・反応性はむしろ不良になる。（興奮の種類が認識できる場合は以下の項目（a～e）とする）</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度</p>
C 02 a. 意識高揚	Elation -----	<p>歓喜・期待などや軽度の中枢興奮薬の影響で精神的活動性が高まった、ほぼ生理的な興奮状態を「高揚」といい、自発運動が亢進し、ヒトや他動物への反応が活発になる。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル</p>
C 03 b. 不穏	Restlessness ----- restless	<p>落ち着きなくそわそわした自発運動が続く状態。中枢神経刺激、身体とくに内臓の疼痛・異常、便秘などを反映する。痙攣の前駆症状のこともある。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル</p>
C 04 c. 易刺激性 苛立ち 過敏	Irritability ----- irritable Hypersensitivity	<p>同様に異常な興奮を示す症状。「不穏」はケージサイドで観察されるが、「易刺激性」は操作によって誘発される被刺激性の亢進である。ハンドリング、光、音などの刺激に対して発声・攻撃を示す。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル</p>
C 05 d. 攻撃性	Aggression ----- aggressive	<p>高度の興奮を示し、手を出すと咬みつくななどの攻撃をする。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル</p>
C 06 e. 闘争	Fighting-----	<p>動物同士の攻撃を言い、複数の動物が同居する場合に見られる。雄性動物に多い。</p> <p>マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル</p>

Code	・ ・ 全 身 的 症 状 ・	解 説
------	-----------------	-----

「異常な興奮の種類」

C 07 不活発
活動性低下
行動性低下
運動低下
元気消失
虚脱

Inanimation -----
listless
droopy
low-spirited
Decrease in movement
Loss of vigorous
prostration

比較的軽度の身体的または精神的な異常のために活動が抑制され、じっとしていて刺激に対する反応も元気もない状態。

マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度

C 08 意識混濁
意識障害

Clouding of -----
consciousness
clouded
Cloudiness

周囲の状況に対する理解が低下すること。しばしば傾眠状態を伴う。また障害の種類と程度によっては、反射機能や呼吸・循環機能の異常も現れることがある。（意識混濁の程度が認識できる場合は以下の項目（a～c）とする）

マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度

[意識混濁の程度]

C 09 a. 無関心
無欲

Indifference -----
indifferent
apathetic
Apathy

刺激への敏捷な反応性を欠いている状態。摂餌・摂水・社会的行動などに意欲を示さない。

マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル

C 10 b. 昏迷

Stupor -----
stuporous

刺激への反応性が低下し、強い刺激にしか反応しない状態。

マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル

C 11 c. 昏睡

Coma -----
comatose

強い刺激にも反応しない最高度の意識障害。

マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル

C 12 受動性

Passivity -----
passive

操作などに抵抗せず、されるままになっている状態。意識混濁の状態に応じて種々の程度の受動性が観察される。

マウス、ラット、ウサギ、イヌ、サル 程度

C 13 朦朧状態
錯乱

Twilight state -----
Confusion

意識混濁のうちに行動する状態。とくに、周囲の状況の理解を失って、無意味な行動をする状態を錯乱（Confusion）という。飼育環境とヒトに馴れた動物が、日常的な行動様式を喪失してしまうことに注目する。

ウサギ、イヌ、サル 程度

Code	・ ・ 全 身 的 症 状 ・	解 説
------	-----------------	-----

睡眠	Usual sleep -----	生理的な睡眠は、原則として一定の周期で現れ、適度の刺激によって覚醒させることが出来る。また、睡眠のあいだは各種の反射および呼吸・循環などの生活徴候は正常に保たれる。しかし、中枢神経機能の抑制が睡眠の形を取って現れる病的な場合には刺激への反応性の低下など、意識障害を認めることが多い。
----	-------------------	---

[睡眠に関する異常な症状]

C 14	a. 傾眠	Drowsiness ----- somnolent sleepy drowsy	眠りに陥りがちでうとうとしている状態。眠りは浅く、刺激に対し、鈍いながら容易に反応する。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル
C 15	b. 昏眠	Sopor ----- soporos	深い眠りで、刺激を加えても覚醒しない状態。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル
C 16	c. 嗜眠	Lethargy ----- lethargic	眠りが持続する状態。刺激によって覚醒するが、すぐにまた眠りに入る。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル
C 17	鎮静	Sedation -----	元来「鎮静」は興奮状態に（被験物質などで）対処してそれを抑制することをいうが、その結果によりもたらされる抑制状態をもういふ。 観察操作に対する一時的な興奮反応の自然の終息や自然に起こっている睡眠または平静な状態を鎮静と混同してはならない。 鎮静は睡眠に移行しやすいが、原則としては覚醒しており、疼痛や恐怖による不穏・苛立ちが抑制されている状態である。 この状態では自発運動は少なくなり、刺激に対する反応も鈍くなっているものであるが、自発運動の低下は必ずしも直ちに「鎮静」（＝中枢神経抑制）を意味するものではなく、身体的異常によるものもある。 マウス、ラット、ウサギ、豚、サル 程度